

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	共有空間であるユニット②のトイレについて、現在使用できなくなっており倉庫として利用していたが、外部評価訪問時かなり酷く汚染しているのを発見し、入居者が使用していた事を知る。 ※ドアには〈御手洗い〉の札があった。	誰が見てもわかるような表示をすること、利用する側に立って最善の環境を整える。	・早急にドアの表示を〈倉庫〉に変更。 (2/22) ・職員間で話し合い、再度トイレとしての使用も検討、代表にその旨伝え見積もり、工事へと繋げる。	6ヶ月
2	54	居室ドアの表示(いわゆる表札)の劣化等をそのままにしており、外部評価訪問時にご指摘がなければ、名前がわからなくなるまで整備することはなく、配慮が足りないままになっていた。	・表札については直ぐに作り変えわかりやすく表示する。 ・常に気持ちよく過ごしていただけるよう環境について気づきがあれば職員間で共有し改善をおこなう。	・表札の作り変えと同時に、居室割り当て表も作成し、災害発生時におけるBCPIに取り入れた。 (2月末日完成)	0.5月
3	35	自然災害におけるBCP・感染症発生時におけるBCPIについて、職員一人一人の理解はあるが実際のシュミレーションをおこなうと個人差が大きい。	全職員が入居者の生活を継続させるためのBCPをしっかり把握し実践できるようになる。	・自然災害、感染症発生時それぞれの具体例を挙げ、職員出勤率50%、30%での業務継続を訓練していく	12ヶ月